

名古屋大学医学部附属病院

病院長名	小寺 泰弘
〒466-8560	
所在地	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地
交通案内	JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3 分 名古屋市営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分

病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008 年度からは、初期研修後の専門育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2 年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT (On the Job Training) を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学医学部附属病院総合診療専門医養成プログラム

【研修目標】

外来・救急・病棟・在宅という多様なヘルスケアの現場で、患者さんが抱えるあらゆる健康問題に総合的に対応できる知識と技能と態度を習得する。

【研修期間】

3 年

【研修スケジュール】

内科研修（名古屋大学医学部附属病院総合診療科、または連携病院の内科 12 か月）、総合診療専門研修Ⅰ（中津川市国保蛭川診療所または豊田地域医療センター12 か月）、総合診療専門研修Ⅱ（名古屋大学医学部附属病院総合診療科 6 か月）、小児科研修（連携病院の小児科 3 か月）、救急科研修（名古屋大学医学部附属病院または連携病院の救急科 3 か月）。中津川市国保蛭川診療所または豊田地域医療センターのいずれかをへき地研修 12 か月として選択。



▲モーニングカンファレンス



主な連携施設

豊橋市民病院 稲沢市民病院 総合上飯田第一病院
名古屋記念病院 名古屋済会病院 豊田地域医療センター
中津川市民病院 中津川市国保蛭川診療所 勝川よるずクリニック

メッセージ

プログラム責任者（総合診療科長・病院教授 佐藤寿一）

「患者さんを総合的に診る」。それが、総合診療医の専門性です。私たちには、いくつもの病態をあわせ持つ患者さんに対応する力があります。また、自分で解決できない病態に出会っても、どの専門診療科にどんなサポートを要請すればよいのかを私たちは知っています。したがって、患者さんの様々な訴えに対して私たちはストレスを抱えることが少ないです。だから、外来診療が楽しくなります。



大学病院では、病院総合医として難解な症例や複数の病気を抱えた患者さんを診ます。市中病院では、一般内科医として地域の患者さんの一般的な病態を診ます。また、クリニックであれば、患者さんを家族や生活背景を含めて診ます。このように、「どこに行っても働く場所のニーズに応じて活躍できる能力」を後期研修で習得します。幅広いキャリアパスを実現できる分野だからこそ、医局が先生たちの将来を決めることはしません。将来を決めるのは、先生たち自身。私たちは先生たちの将来像が実現するようサポートしていきます。

私たち全員がそれぞれ目的意識を持って生き生きと活動しています。また、全国からいろいろなキャリアを持った人が集まってくるので、お互いにより刺激が得られるようです。若手はその中で、徐々に自分のアイデンティティを確立させ、この先 5~10 年間のキャリアを設計していきます。

募集要項

・採用予定人数	6 人
・給与/月額	月額約 20 万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等））を支給
・当直回数/月	1 年次 1 回/2~3 ヶ月週末または祝日の日直 2 年次以降 研修医療機関により異なる（診療所での研修期間に当直はない）
・当直料/回	20,000 円/回
・その他	平日日勤帯の外勤等（週 1 日まで）可 ※本プログラムにおける 1 年目の給与体系のモデルケース 基本給+各種手当で、月額約 7 0 万円程度
・応募連絡先	担当者 佐藤 寿一 電話番号 052-744-2951 E メール juichi@med.nagoya-u.ac.jp